

担任向け休校中の子ども支援チェックシート

新型コロナウイルスによる休校措置により、新学期がはじまりましたが子どもたちは担任の先生と会えない日々が続いています。この間、先生方はさまざまな方法で、学習面・生活面での支援に取り組んでこられたと思いますが、休校措置の継続が決まったこの時期、子どもや保護者にとって、担任の先生から改めて「心配しているよ」「会えるのを楽しみにしているよ」というメッセージが伝えられることは、学校とのつながりを再確認し、それが今後しばらく続く休校期間を安心して過ごす糧にもなります。

そのため、地域や学校の状況に応じて、以下の2つのステップで、子どもや保護者との関係づくりをし、子どもや保護者の状況をアセスメントして、緊急性などもふまえて必要に応じて支援を行っていきます。持ち上がりなどですでに十分関係が出来ている場合でも、このような事態に直面する中、改めて声をかけることから始めてください。できれば、電話など、直接声を聞ける形で声をかけてみてください。

項目については、学年や学校で協議し、必要な項目を加えるなどしてもよいでしょう。

STEP 1：子どもや保護者との関係づくりを進めていきましょう

3月からの休校から始まり、新しい年度になっても子どもや保護者と話ができる時間がほとんどなく休校に入ってしまった学校も多いと思います。子どもと先生の関係は学校生活において基盤となる重要なものです。そのため、まずは電話等で話をするを通して関係づくりをしていきます。子どもや保護者と話をし、生活の様子を聞きながらも、先生のお人柄を伝えて「こんな担任の先生なんだな」とわかってもらい、安心につなげていくようにします。もし、話をしている、子どもや保護者がイライラしている様子が伝わってくる様子であったり、または困りごとの相談があったりした場合には、学年部や生徒指導部会で共有し、スクールカウンセラーに相談してください。この段階では、関係づくりが目的となりますので、事情聴取のように一方的に家庭の様子を聞くことは避けましょう。

STEP 2：関係づくりができたなら、子どもや保護者の様子について理解していきましょう

保護者から日常の様子が積極的に話してもらえそうな状況になったら、少しずつ保護者や生徒の困りごとやストレスについて教師から尋ねてみるのもいいでしょう。この時にも一方的な聴き取りになったり、一方的にアドバイスをするような形にならないように気をつけましょう。

STEP 2に行く前に、保護者にメールや電話などで案内をしても良いかもしれません。「例年であれば家庭訪問でお伺いすることを10分程度、電話でお聞きしたいと思います」などの案内をして、保護者や子どもに心の準備をしてもらいましょう。



STEP 1：子どもや保護者との関係づくりを進めていきましょう

話をしているときは、会話の内容だけでなく、子どもや保護者の口調や後ろから聞こえてくる音などにも注意するとよいでしょう。

保護者

| ✓ | 項目 |
|---|---|
| | 家庭での過ごし方（例：おうちでの様子はいかがですか？） |
| | 就寝時間と起床時間（例：生活リズムはどんな感じですか？） |
| | 睡眠（例：寝つきは良いですか、途中で起きたりしてませんか、朝すっきり起きていますか？） |
| | 食事（例：3食食べていますか、量はこれまでと比べてどうですか？） |
| | 様子の変化（例：以前の様子と変わったことはありませんか？） |
| | 心配な点（例：何か気になる点がありますか？） |
| | |

子ども

| ✓ | 項目 |
|---|---|
| | 今日の過ごし方（例：今日は何をする予定？何をしていた？） |
| | 今日の気分（例：今日の気分は？） |
| | 家での生活の中での楽しみ（例：家において、楽しいなと思うことは何かあるかな？：テレビ番組でもゲームでも本でも） |
| | 困っていること（例：今、困ったなと思っていることはある？） |
| | 話したいこと・聞いてみたいこと（例：今、何か話したい・聞いてみたいことはある？） |
| | |

注意) STEP 1では子どもが安心して話ができるよう関係づくりが目的です。先生から勉強の話をするのはSTEP 2からにしましょう。

他にも普段、保護者や子どもたちと関係づくりをしていく時に先生が日頃から大切にしているコミュニケーションの方法も活用してください。

STEP 2：関係づくりができたなら、子どもや保護者の様子について理解していきましょう

保護者

| ✓ | 項目 |
|---|-------------------------------------|
| | 家庭での過ごし方（例：おうちでの様子はいかがですか？） |
| | 就寝時間と起床時間 |
| | 睡眠（寝つき、途中で起きたりしないか、朝すっきり起きられていますか？） |
| | 食事（例：3食食べていますか、量はこれまでと比べてどうですか？） |
| | 様子の変化（例：以前と様子で変わったことはありませんか？） |
| | 学習面（例：勉強についてはどうですか？） |
| | 日中の過ごし方（例；お子さんは日中、誰とどのように過ごしていますか？） |
| | 困り事（例：何かお困りのことはありますか？） |
| | |

子ども

| ✓ | 項目 |
|---|---|
| | 今日の過ごし方 |
| | 今日の気分 |
| | 家での生活の中での楽しみ |
| | 学習（例：勉強はどんな風をしている？） |
| | 学習面の困りごと・心配事（例：勉強のことで心配なこと・困っていることは？） |
| | 話したいこと・聞いてみたいこと（例：今、何か話したい・聞いてみたいことは？） |
| | やってみたいこと（例：今、何かやってみたいこととかはある？） |
| | 手伝いなど（例：誰かのために何かやってみたことは？ 家の手伝いとか、ネットで友だちをはげますとか） |
| | 話し相手（例：自分の気持ちを話したいと思ったとき、誰にそのことを話す？） |
| | 気分転換（例：いやだな、つらいなと思ったとき、どんな気分転換している？） |
| | 教師や家族への希望（例：先生や家族にして欲しいことは何かある？） |

他にも普段、保護者や子どもたちと関係づくりをしていく時に先生が日頃から大切にしているコミュニケーションの方法も活用してください。

あまり話してくれなかった場合も、最後に「これからも何か心配なことなどあったらいつでも話を聞く」ことを伝えてください。